

平成18年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
4-1	中原区地域子育て支援推進事業	継続	平成15年	こども総合支援担当

1 事業概要

事業実施主体	中原区子育て支援推進実行委員会		対象者	区内在住の0歳から3歳までの乳幼児と保護者	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予定事業 <input type="checkbox"/> 緊急対応事業
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他 ( )		関連事業局・事業内容	—	
目的及び内容	<p>区内に住む乳幼児を育てている保護者が、周囲から孤立して育児不安に陥ったり虐待につながることを防ぐよう、地域ぐるみで子育て中の保護者をサポートしていくために、区の社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会と地域住民が主体となり、区内7地区で14ヶ所の「子育てサロン」を開催している。</p>				
予算額	1,800,000(円)	決算額	1,773,120(円)	不用額※	26,880(円)
※不用の理由	—				
結果・成果	<b>【事業実施状況・成果物などの写真等】</b> 		<p>中原区の社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会が主体となって区内7地区・14ヶ所で毎月1回子育てサロンを開催している。子育てサロンの開催の他、各地区での見守り活動や子育てを支援する人材の育成等も行っている。</p>		
	(子育てサロンの様子)		実施時期 (開催日/回数等)	月1回/サロン 延べ147回	参加人数等

2 事業評価

<p>評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)</p> <p>転入者の多い中原区では、乳幼児を持つ親が周囲に知り合いがいいため不安を抱えていることが多く、子育て中の親同士や地域の人々と交流ができる「子育てサロン」に対するニーズはたいへん高い。「子育てサロン」に参加することにより、子育てに関する情報交換ができ、同じ年頃の子どもを持つ親同士のつながりができることにより、孤立化による育児に対する不安が軽減されている。</p>
--

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	<p>ある地区が参加者に対して行ったアンケートにおいて、現行は各会場とも月1回の開催であるが開催日を増やしてほしいという要望が出ている。また、今後は市外からの転入者が増えるためサロンに対するニーズはますます高まるものと思われる。</p> <p>事業開始後5年が経過することなどから、これまでの取り組みを検証し、今後の子育てサロンの運営に反映させていく。</p>

※ 区民会議からの主な意見


<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てサロンは活動が知られ、参加者が多くなり会場が手狭になってきている。より多くの人が参加できるよう回数を増やすなどの工夫が必要。</li> <li>・関連した課題として、子育てサロンに参加する母親、参加できる母親以外の地域で孤立した母親をどのように支援していくかも検討していく必要がある。</li> </ul>
--

平成18年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
4-2	こころ育ての子育て支援推進事業	継続	平成14年度	こども総合支援担当

1 事業概要

事業実施主体	こころ育ての子育て支援推進実行委員会	対象者	妊婦及び乳幼児とその親	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予定事業 <input type="checkbox"/> 緊急対応事業	
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他( )	関連事業局・事業内容	—		
目的及び内容	子育て期における「赤ちゃんを抱っこすることの大切さ」を広く伝え、子どもの健全な発育を支援するための講演会を行う。また、妊婦や日頃生の音楽にふれる機会の少ない乳幼児を持つ親が、子どもと一緒に美しい音楽にふれ、気持ちを豊かにして育児にのぞめるよう「マタニティ&ファミリーコンサート」を行う。				
予算額	900,000(円)	決算額	898,086(円)	不用額※	1,914(円)
※不用の理由	—				
結果・成果	<b>【事業実施状況・成果物などの写真等】</b>  マタニティ&ファミリーコンサート	平成18年7月4日にエポックなかはらにおいて「マタニティ&ファミリーコンサート」を開催した。また、11月11日に未来フェスタのイベントの一環として、区役所5階において第2回の「マタニティ&ファミリーコンサート」を開催した。 平成19年2月3日に「こどものこころを育てる育児」と題した講演会を開催した。			
		実施時期 (開催日/回数等)	年2回(マタニティ&ファミリーコンサート)、年1回(講演会)	参加人数等	マタニティコンサート第1回904人、第2回(未来フェスタと共催)約600人、講演会78人

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること) コンサートは2回合わせて約1500人の参加があり、本事業の目的である「赤ちゃんを抱っこすることの大切さ」を広く区民に普及啓発する機会となった。 講演会は、参加者アンケートで、「目と目を合わせた真心の子育てをしていきたいと思う。」「とても良いお話でした。子どもとの向き合い方を見直したいと思います。」等の感想が寄せられ、親子関係を見直す機会の提供となり、より良い親子関係を形成する一助となったといえる。
--

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	平成17年度から講演会とコンサートを同時開催で実施し、集客効果を挙げてきたところではあるが、参加者からは「夫に聞かせたかった。」との要望もあり、父親が参加できるような開催日時等の設定を考える必要がある。

※ 区民会議からの主な意見


<ul style="list-style-type: none"> <li>・レコードコンサートだけでも回数を増やせないか。</li> <li>・家族と一緒にコンサートを聴くことも重要。我が子の公共の場での様子などを父親にも見てもらえるよう、開催日時の工夫もして欲しい。</li> </ul>
---

平成18年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
4-3	ふれあいなかはら福祉まつり	継続	平成11年度	地域保健福祉課

1 事業概要

事業実施主体	ふれあいなかはら福祉まつり実行委員会	対象者	区民	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予定事業 <input type="checkbox"/> 緊急対応事業	
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他( )	関連事業局・事業内容	—		
目的及び内容	<p>誰もがお互いに理解し、支えあう地域社会を目指し、福祉分野でのボランティア活動や福祉施設等を広く来場者にPRするとともに、参加団体および区民同士の交流を図り、心のふれあいの場とすることを目的とする。</p> <p>内容としては、舞台でのボランティア団体活動発表、福祉体験ウォークラリー、各団体パネル・作品展示、各団体自主製品販売、福祉車両の展示、和太鼓演奏、手話コーラス等を行なった。</p>				
予算額	850,000(円)	決算額	669,503(円)	不用額※	180,497(円)
※不用の理由	第10回の記念として「ボランティア団体活動紹介」(9団体発表)を実施した。そのため例年実施していたメイン事業を中止し、講師謝礼分が不要となったため。				
結果・成果	<b>【事業実施状況・成果物などの写真等】</b> 		第10回記念事業として「ボランティア団体活動紹介」を行なった。オープニングの手話コーラスにはじまり、福祉関係各団体が区民に向けて活動状況を発表した。準備や進行、案内もボランティア団体が行なうことで、団体間の交流も深まった。		
	(ボランティア活動発表の様子)		実施時期 (開催日/回数等)	平成18年11月18日	参加人数等

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
<p>第10回記念事業「ボランティア団体活動紹介」や来場者参加型イベント「福祉体験ウォークラリー」により、目的である区民へのPR及び参加団体・区民間交流は一定の成果をあげた。現在地域において高齢者や障害者の受け皿が求められており、区民の福祉への理解は必要不可欠となっている。またボランティアの担い手も高齢化しており、新しい力が求められている。こうした状況を踏まえると、区民へ福祉についてPRができ、ボランティア団体間や区民との交流を図れる本事業は、今後も必要性・重要性の高いものである。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	<p>第10回を迎え、区民に向けて福祉をPRするイベントとして地域にも定着してきている。今後は同日開催のなかはら健康まつりとの共同開催とし、チラシ・ポスターなど広報の一本化を行なうことで効率的な事業の執行をするとともに、福祉体験ウォークラリーの共同実施をはじめ内容面でも連携をはかり、より効果的な事業とする。</p>

※ 区民会議からの主な意見


<ul style="list-style-type: none"> <li>・担い手が高齢化してきている。対応を検討して欲しい。</li> <li>・内容は充実してきたが、参加者が小杉地区中心となっている。他の地区の参加者増加に向けた取り組みが必要。</li> <li>・社会福祉協議会が主催する夏休みボランティア講座に参加した中高大学生に地域ボランティア活動の担い手となるきっかけとして、福祉まつりの運営に参加してもらおうのどうか。</li> </ul>
---

平成18年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
4-4	なかはら健康まつり	新規	平成18年度	地域保健福祉課

1 事業概要

事業実施主体	なかはら健康まつり実行委員会	対象者	中原区民および健康に関心のある人	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予定事業 <input type="checkbox"/> 緊急対応事業	
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他( )	関連事業局・事業内容	—		
目的及び内容	区民参加型の健康づくりイベントを通し、区民の健康に対する知識の高揚を図ることを目的とする。 実施内容としては各種健康相談、栄養相談、歯科相談、禁煙相談、血管年齢測定、物忘れ相談プログラムなど。				
予算額	350,000(円)	決算額	349,056(円)	不用額※	944(円)
※不用の理由	—				
結果・成果	<b>【事業実施状況・成果物などの写真等】</b>  (みんなで楽しむフリフリグッパ)		食生活改善推進員による展示、試食コーナーや運動普及推進員による体操、展示、医師・歯科医師・保健師・栄養士などによる各種健康相談、健康測定を実施 また、全員参加型の企画として「フリフリグッパ」を実施した。		
	実施時期 (開催日/回数)	平成18年11月18日 開催(年1回開催)	参加人数等	区民等約600人	

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること) 数年前から実施していた健康まつりを平成18年度から協働推進事業として規模を拡大して実施した。 参加者数は年々増えており、社会での健康意識の高まりの中、イベントによる健康教育・健康相談として一定の成果をあげるとともに、区内の関係団体(食生活推進員、運動普及推進員など)の活動の発表の場として重要な役割を果たしている。 現在高齢者の生活の質の向上をめざしている中で介護予防が重視されていることや平成20年度以降の特定健診の中で保健指導の重要性が増してくるなか、本事業は有効性、重要性の非常に高い事業である。
--

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	区民への周知方法が市政だよりやホームページのみであったため、広報について検討を要する。また、従前から同時開催している「ふれあいなかはら福祉まつり」との連携を強化し、参加者の拡大やイベントの充実を図る。

※ 区民会議からの主な意見

・同日開催のなかはら福祉まつりで行っている「福祉体験ウォークラリー」を保健所内に増やすなど、連携を密にすることにより、もっと盛り上がると思う。
---




平成18年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
4-5	子育て支援ネットワーク推進事業	新規	平成18年	こども総合支援担当

1 事業概要

事業実施主体	子育てネットワーク、子ども支援ネットワーク、子ども未来フェスタ実行委員会	対象者	区内の子どもと保護者、区内の子どもに関わる機関、団体	■当初予定事業 □緊急対応事業	
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他( )	関連事業局・事業内容	—		
目的及び内容	<p>地域全体で子どもが抱えている課題を共有し、課題解決に向けた支援を行うため、関係機関や団体に呼びかけネットワークを構築した。支援する子どもの年齢により、乳幼児については「子育てネットワーク」、学齢児以上の子どもについては「子ども支援ネットワーク」をそれぞれ立ち上げ、会議を通じて支援策を検討する。また、ネットワークから地域に向けた「ネットワーク通信」を隔月発行し、区民に対してきめ細かい情報提供を行う。</p> <p>区内の子どもを支援する団体や子育てに関わる団体・区民同士が交流し、広く子どもや子育てに対する情報提供や啓発を行うイベントとして「なかはら子ども未来フェスタ」を開催する。</p>				
予算額	1,156,000(円)	決算額	1,118,839(円)	不用額※	37,161(円)
※不用の理由	—				
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】	<p>子ども支援・子育てネットワークについては、それぞれ年3回、4回の会議を実施し、情報交換や子ども支援に向けての検討を行った。その中で、地域に密着した行事等の情報をこまめに提供するための「子ネット通信」を隔月発行した。</p> <p>それぞれのネットワークに呼びかけ、区内の子どもに関わる行政機関や団体、区民が協働して11月11日に「子ども未来フェスタ」を中原区役所で開催した。</p>			
		実施時期	平成18年11月11日 (未来フェスタ)	参加人数等	区民約600人 (未来フェスタ)
(地域情報満載の子ネット通信)					

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
<p>これまで、地域毎に活動していた自主グループ等と行政機関、公共的活動を行う団体がネットワークとして集まることで、皆で地域の子どもを支援していくという共通認識と連携が図られた。また、「子ども未来フェスタ」を開催することでネットワーク参加者同士の交流を図り、地域に向けて活動内容をPRすることができ、今後のネットワーク活動を推進していく上で一定の事業目的を達成することができた。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	<p>地域全体で子ども支援に取り組むため、さらに多くの関係機関や団体に参加を呼びかける必要がある。また、ネットワークの中で参加団体の特性を生かした支援を検討する。未来フェスタについても広く参加を呼びかけるとともに、区民に対してのPRをさまざまな手段で行っていく必要がある。</p>

※ 区民会議からの主な意見


<ul style="list-style-type: none"> <li>各会議に参加している団体の交流は図れているか。</li> <li>子育て情報誌は地域で評判が良い。</li> <li>なかはら未来子どもフェスタでは、子育て世代だけではなく、中高生のテーマも欲しい。</li> <li>子ども支援ネットワーク会議とPTAが連携を深め、地域ぐるみの推進活動となるような働きかけが必要。</li> </ul>
---

平成18年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
4-6	子育て情報発信事業	新規	平成18年	こども総合支援担当

1 事業概要

事業実施主体	こども総合支援担当及び中原区子育て情報ガイドブック作成委員会		対象者	区内の乳幼児を持つ保護者		■当初予定事業 □緊急対応事業
事業形態	□直営 ■一部委託 □全部委託 □その他( )		関連事業局・事業内容	—		
目的及び内容	<p>転入者が多い中原区においては、地域の公園や子育てに関する施設、子育てを支援する制度等に関する情報をコンパクトにわかりやすく提供することが求められている。そのため、実際に区内で子育てをしている、または子育てに関わっている区民が主体となって作成委員会を設置し、どんな情報があったら便利かという視点でガイドブックを作成し区内の乳幼児を持つ保護者に配布した。</p> <p>また、なかなか中原区役所等の公共施設を訪れることのない住民にも等しく情報を提供できるよう、ガイドブックの内容に沿った子育て情報ホームページを開設した。</p>					
予算額	4,050,000(円)	決算額	3,064,329(円)	不用額※	985,671(円)	
※不用の理由	契約差金による。					
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】		子育て情報ガイドブック作成委員会を設置し、夏までに5回ほどの編集委員会を開催し作成作業を行った。子育て情報ガイドブック「このゆびと～まれ!」は平成18年9月に13,000部発行し、区役所、区内の子育て関係施設等で配布した。			
	 <p>(ガイドブック「このゆびと～まれ!」)</p>		実施時期 (開催日/回数等)	平成18年9月発行 (ガイドブック)	参加人数等	—

2 事業評価

<p>評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)</p> <p>子育て情報ガイドブックについては、子育てに関わる区民で構成するガイドブック作成委員会に業務を委託したことによって、利用者の視点にたったガイドブックを発行することができた。地域に密着した情報を掲載したり、子育て支援に関する制度や事業についても広く網羅した内容から、区民のみならず、区内で子育てに関わる団体からも送付の依頼があり、当初の予想を上回る配布数となった。</p> <p>また、ガイドブックの内容に沿った子育て情報ホームページを開設したことによって、ガイドブックが入手できない住民に対しても幅広く子育てに関する情報提供を行うことができた。</p>
---

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	<p>当初予想を超えた配布数となり19年度中に在庫がなくなる見込みであるため、ガイドブックの改訂版を発行する方向で情報収集等を行う。19年度中の制度変更等に関しては当面ホームページの更新により対応する。</p>

※ 区民会議からの主な意見


<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てに役立っているという声を耳にしている。</li> </ul>
---

平成18年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
4-7	福祉ボランティア養成講座事業	新規	平成18年度	地域保健福祉課

1 事業概要

事業実施主体	中原区地域福祉推進実行委員会	対象者	中原区民	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予定事業 <input type="checkbox"/> 緊急対応事業	
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他( )	関連事業局・事業内容	—		
目的及び内容	<p>中原区地域福祉計画の一環として、計画の方向性のひとつ「人を育てる」を実現することで、地域福祉活動を支援していく。</p> <p>定年退職前の中高年が参加できる福祉ボランティア養成講座を2コース実施する。講座の内容は、地域で必要としているものを区内のボランティア団体やNPOに企画してもらう。区役所は、会場の提供、専門職員の派遣、講座の広報などで支援していく。</p>				
予算額	400,000(円)	決算額	206,765(円)	不用額※	193,235(円)
※不用の理由	5地区社会福祉協議会のうち2地区で、企画案がまとまらず事業実施ができなかったため。				
結果・成果	<b>【事業実施状況・成果物などの写真等】</b>  (小杉地区のパネルディスカッション)	<p>平成18年10月に、地区社協、民生委員児童委員及び町内会長の中から7名の区民による中原区地域福祉推進実行委員会を発足し、実施に向けて協議を行った。</p> <p>その結果、小杉地区社会福祉協議会では「福祉の心を共に学び合おう」をテーマにパネルディスカッション(2月)、丸子地区社会福祉協議会では丸子地区の高齢者とボランティア希望者による交流会(12月から3月にかけて月1回、合計4回)、大戸地区社会福祉協議会では子育てサロンのボランティア養成講座(1月、2月に各1回)を実施した。</p>			
	実施時期(開催日/回数等)	上記のとおり	参加人数等	計約290名	

2 事業評価

<p>評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)</p> <p>新たなボランティアの養成や高齢者の外出支援、福祉施策の広報活動などの取り組みを、区民が主体となって企画・立案・運営する動議づけをすることができた。</p> <p>いずれの企画も、協議会のメンバーのために実施するという考えではなく、町内会等にも加入していない、地域住民を少しでも地域活動にまきこみ、福祉の輪を広げたいという考えであったことは評価できる。</p>
---

3 事業の方向性


次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
<input type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	<p>昨年度は、10月から取組をはじめたため、企画案作成に時間的余裕がなかった。今年度は、5月に事業内容の確認を行ったが、各地区社協もより内容の充実した企画作成しようという意気込みが感じられた。</p>

※ 区民会議からの主な意見

<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画段階から市民参加で行ったほうがよい。</li> <li>・ボランティア活動を長く続けていくために、活動が負担にならず、生活の一部として生きがいになるようつなげていけると良い。</li> </ul>
--

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
4-8	多胎児育児支援事業	新規	平成18年度	保健福祉サービス課

## 1 事業概要

事業実施主体	保健福祉サービス課児童・家庭支援担当 ボランティアグループ「ピーナッツ」	対象者	中原区在住の多胎児を持つ親及び 多胎児育児支援に関心のある区民	■当初予定事業 □緊急対応事業		
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 ■その他(ボランティアグループと共催)	関連事業局 ・事業内容	—			
目的及び内容	多胎児育児は通常の育児にはない多くの負担を抱えながらの育児となる。また外出も少なく、孤独・閉塞的な育児になりやすい。育児に前向きに取り組んでいけるよう、①多胎児の育児をしている親同士での育児の工夫などの情報交換②専門職による子育てに関するアドバイス③ボランティアの見守りの中でゆっくりと会話ができる場づくりを目的に、①多胎児育児支援ボランティアの養成・グループ化支援②3会場での交流会開催③ふたごちゃんフェスタ(休日開催)による家族単位の交流会開催を行う。					
予算額	200,000(円)	決算額	192,580(円)	不用額※	7,420(円)	
※不用の理由	—					
結果・成果	<b>【事業実施状況・成果物などの写真等】</b>  (ふたごちゃんフェスタ)	① ボランティア講座開催 9名参加 ② ボランティアグループ「ピーナッツ」結成。ピーナッツと共に交流会などを企画、運営。 ③ 3会場での交流会 上平間第1町内会(11/15)4組参加 大戸こどもセンター(11/29)14組参加 国際交流センター(11/30)19組+妊婦1名参加 ④ ふたごちゃんフェスタ開催(2/25)40組+妊婦1名参加	実施時期 (開催日/回数等)	上記記載	参加人数等	上記記載

## 2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
<p>交流会では地域での開催により今まで参加できなかった母子の参加があり。講師により多胎児育児独特の悩み等についてのアドバイスを得られ、より安定した育児への効果が得られた。</p> <p>ふたごちゃんフェスタでは日曜日開催とし、父親参加をねらい、母子から家族への交流が広がった。また父親の思いなどを聞くことができ、今後の支援のあり方の参考となった。</p> <p>事業展開から当初より区民ボランティアが企画に参加、多様な内容のものになり、多胎児育児支援の推進が図れた。今後も「ピーナッツ」にて支援が継続される予定。</p>

## 3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	平成19年度は、市民活動団体の自立と団体の創意工夫による事業展開を図るため、ボランティアグループ「ピーナッツ」に業務の委託を検討する。 交流会、ふたごちゃんフェスタの開催をはじめ、多胎児育児支援のあり方について引き続き検討していく。

## ※ 区民会議からの主な意見

—
---




平成18年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課 (連絡先)担当者
4-9	幼児室機能更新事業	新規	平成18年度	保健福祉サービス課

1 事業概要

事業実施主体	保健福祉サービス課		対象者	区民 ・保健福祉センター利用者	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予定事業 <input type="checkbox"/> 緊急対応事業
事業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他(ボランティアGと共催)		関連事業局 ・事業内容	—	
目的及び内容	区役所別館の幼児室はこどもが安全に遊べる場として多くの子育て支援事業で使用しているが、老朽化が著しく、安全で快適な空間になるように、①床面積拡張のため間切りを除去、内装を一新する。改修後は乳幼児健診の機会に育児情報の提供、交流の場として「こどもと保護者のふれあい事業」を新規で行い、幼児室の利用拡大を図る。				
予算額	6,163,000(円)	決算額	4,995,564(円)	不用額※	1,167,436(円)
※不用の理由	契約差金による。				
結果・成果	<b>【事業実施状況・成果物などの写真等】</b>  (改修後の幼児室)		①間切りの撤去②床、壁、天井の張替え③空調設備、ロールスクリーン、おもちゃ収納他戸棚の設置③出入り口ロダの改修を行った。		
	実施時期 (開催日/回数等)	平成18年9月	参加人数等	—	

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
1. 幼児室改修に伴い、安全で快適な環境でこどもを遊ばせることができるようになった。 2. ①公立保育園の協力により3歳児健診時「こどもと親子のふれあいの場」を開設②3ヶ月健診時に授乳室として開放し待合場所の混雑緩和が図れた③育児講座などの定員の増加が図れたなどの区民が保健福祉センター事業の利用時のサービス向上が図れた。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
<input type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 終了する	事業目的を達成したため終了する。

※ 区民会議からの主な意見

—
---